錦清流小コミュニティスクール通信

# にしきの子

#### <sup>岩国市立</sup> 錦清流小学校

2023年度 10月号(No.13)

#### 5年生が広島に行ってきました

10月30日(月)、5年生が広島市方面へ社会見学に行きました。5年生の感想をいくつか抜粋して紹介します。

- ○マツダミュージアムの1階にある車にたく さん乗れたので、とっても楽しく、大人に なってから車を運転するのが、楽しみになりました。
- ○前学校で読んだ「真っ黒なおべんとう」という本に出ていた真っ黒なお弁当が(平和記念資料館に)展示してあり、本当にあった話なんだなと思いました。



○平和記念資料館については、思い出すだけで悲しいので、(日記に)書いていません。

実体験でしか得られない心の動きが、感想から読み取れます。教室ではできない、良い授業になったようです。とても天気が良い一日で、外で食べるお弁当もおいしかったことでしょう。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

#### 遠隔授業を実施しました

10月31日(火)5年生が宇佐川小学校と遠隔授業を実施しました。タブレットのアプリ「Teams」で互いをつなぎ、宇佐川小学校の西嶋瞭先生のご指導で国語の学習を行いました。少子化が進む中、遠隔授業で他校の児童と交流しながら学ぶことには、大きな魅力を感じます。今後このような機会が増えていくと思われます。児童の感想を紹介します。



- ○初めて宇佐川小とのオンライン授業で、一緒に学べて良かったです。私は、タブレット でするとわかりやすかったです。
- ○タブレットで授業をやってみて、黒板がすぐ消えるから速く書かないといけないから、 読み取る力が必要だとわかりました。

感想からもわかるように、タブレットを使用した授業には長所と短所があります。また、 授業の準備がかなり必要で、教員の負担も増えます。タブレットは、よりよい授業を行う ための一つの道具として、今後も使用する場や方法を考えていく必要があります。

## 模式教育の勉強会を定期的に行っています

本校は、児童数減少に伴い、今年度は複式 学級が一つでしたが、来年度二つになる予定 です(児童数の変動によって変更もあります)。

『複式学級でも単式学級と同じような授業をする』ことを目的とするのではなく、『複式学級だからできる単式学級以上の授業』を目指し、校内研修を重ねています。具体的には、児童がリーダーとなって授業を進めていく「リーダー学習」や、自分で考える時間や互いに教え合う時間を確保した「ステップ学習」が定着するよう、定期的に研究授業を行っているところです。



タブレットを活用して授業が進んでいきます

10月30日(月)には、山口県教育庁義務教育課指導班指導主事の住江めぐみ先生をお招きし、校内研修を実施しました。3・4年生の複式授業を参観し、さらに良い授業にするためにはどうしたらよいかを話し合い、指導助言をいただきました。複式授業では、教師が関わる時間が限られてくるため、『互いに認め合い助け合える児童集団をつくる』ことや、『指示待ちではなく自立や自律のできる児童を育てる』ことが大切なのだという共通理解を、さらに深めることができました。目指すのは、【児童が学ぶ方法を柔軟に選択しながら互いに高め合う授業】です。ご家庭でも、『自立・自律』をキーワードにお子様へご指導くださると助かります。

### 今月の月頭集会は手品の披露がありました

本校では、毎月はじめに月頭集会を開いています。いつも校長が前に出て、同じような話をするよりも、多くの人が多様な話をする方が子どもにとって良いだろうと考え、教員が輪番制で話をしています。これまでも教頭先生が趣味のサイクリングの話をしたり、齋藤先生が地元で活動している子ども食堂の話をしたりと、なかなか興味深い話がありました。

そして、今月は一色先生が手品を披露しました。プロさながらの話術とあっと驚く手品で、 子どもたちは大喜びでした。子どもたちが楽し みにできるような集会は、錦清流小学校の自慢の一つです。



#### 花いっぱい運動で奨励賞!

地域や保護者の皆様が花植えや水やりを手伝ってくださったおかげで、奨励賞をいただくことができました。肌寒くなってきた今も、毎朝きれいな花々が我々を迎えてくれ、とてもうれしいです。

今月28日に開催予定の苗植え会にも、たくさんの皆様が協力してくださる予定です。本当にありがとうございます。

